

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども支援センターはままつ		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 3日		～ 2025年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 3月 10日		～ 2025年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2025年 3月 10日		～ 2025年 3月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)は、訪問支援員と一体となって改善を行っています。また、PDCAサイクルの回転が早いことが強みです。	訪問支援員とミーティングを行って、訪問対象の子どもの様子や保護者から得られた情報を確認します。気になった点や気を付けることなどを、訪問前に話し合いをして着眼点などを意識できるようにしています。	ミーティングの回数をさらに多くすることも挙げられます。訪問先施設での課題と当事業所内での課題が一致してかなどの話し合いを通じて、どこをポイントにしながら支援するか、訪問支援員と共有していきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	普通通所しない子どもがいる訪問先施設に対する保育所等訪問支援事業の重要性の説明は苦勞します。	小・中学校については、近年、福祉部局と教育委員会の連携強化に伴い、本事業の理解度はあがっています。一方、我々のような放課後等デイサービス事業が主体の事業所が実施する保育所等訪問支援事業に対する保育園等の理解度が極めて低いことが要因の一つと考えます。	今後も学校等とは、より積極的な情報共有を継続していくことに加え、普通通所実績のない子どもの施設に対する本事業の実施に際しては、事前のより綿密な情報の共有の仕方が課題となると考えます。
2			
3			